新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～１月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

美しものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なるものに触れたときの感覚、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などの様々な形の感情がひとたびよびさまされると次にその対象についてもっと知りたいと思うようになります。そのようにして見つけ出した知識はしっかりと身につきます。　レイチェル・カーソン「センスオブワンダー」より

外で遊んでいたら、風で粉雪が舞い、そこに太陽の光が当たって、とてもきれいだった。
（５年女子）

雪は、上から下に降ってくると思っていたが、雪によっては、斜めに降ったり、下から上に舞い上がったり、いろいろあって不思議だな。（６年女子）

登校するとき、道路の雪が除雪され、スムーズに歩けるのは、誰かが頑張ってやってくれているからだと思った。感謝したい。（５年男子）

冬休みが終わりに近づくと、「悲しい」と思うが、みんなに会える「うれしさ」もある。人の感情は、「楽しい」「心配」など、様々な感情があって、一つの心があるのだと、感じた。（６年女子）

雪かきをしているとき、マンホールの上だけ雪が積もってないことに気付いた。修理などしやすいためだと思うが、すごい技術だと思う。
（６年男子）

となりの家のおばあちゃんの雪かきを手伝ったら、「ありがとう」と言ってくれた。とてもうれしかった。（５年男子）

除雪は一人でやるよりも人数が多い方がはかどる。人の力ってすごいと感じた。それに、今年は大きなスノーダンプを使えるようになった。私は成長したと思った。（６年女子）

寝るときに、耳をすませたら、サラサラと、近くの川の流れる音が聴こえてきた。なぜか、心地よかった。
（５年女子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第９号　R4.2.8